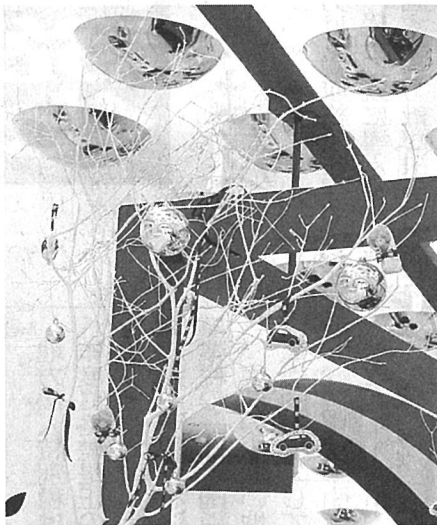


フィアットというイタリアの自動車メーカーがあります。NPO法人「JKSK」を支援してください。多くの日本企業でもCSR(企業の社会的責任)活動が定着してきましたが、フィアットはNPOに単に助成するだけではなく、具体的なアクションをともに行うというところに特徴があります。

JKSK結結プロジェクト(東日本大震災復興プロジェクト)の実行委員で、オーガニックコットン製品を手掛けるアパルティが震災直後から取り組んできた「東北グラ

東北復興日記

68



十二月七、



NPO法人JKSK
理事・事務局長
梶田恵臣さん

頼もしい行動力、決断力

ンマ」への協力から始まるといふものです。被災された漁師のお母さんたち(グラ)がコットンの端切れでつくったクリスマスオーナメントを販売し、女性たちの収入にしよう

としましては、福島で綿を栽培する「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」への支援として、タペを青山のフィアット・カフェで開催しました。社会課題を共有し、解決へのパッションにあふれた視線、行動を起す決断の速さ。そんなフィアットのアクションにCSRの本質があると思えます。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。

八の両日、フィアットが支援するNPOなど十八団体が参加するクリスマスイベントが表参道ヒルズで開かれます。JKSKでは、結結プロジェクトでつながりのある復興地の商品を販売します。福島の綿を使ったオーガニックコットン人形やTシャツ、気仙椿リップクリームや宮城県大崎市のふゆみずたんぼ米など。一緒にあたたいクリスマスを過ごしませんか？